(日刊) (明治四十一年七月四日 第三種郵便物認可) 明治四十一年七月十六日 京城新聞 (木曜日) 第十號 (一)

京城新聞

中元の贈物

一記者

▲今日はいよ〳〵盆の十六日である、一年一度の佛事供養、一家親族の亡き人の靈を吊うべく寛仁忍辱の心を持して業を休み身を清め肉を斷ち魚を廢して謹んで供養追善する日である、從つて之に伴ふ我國の習慣として親戚及懇意なもの〻間に中元の贈物が盛んに行はる〻は毎年極りキッた例である、所で記者は京城に於て是等中元の贈物が今年の一般市中の不景氣から見て昨年に比して甚麼な差があるか又其の贈物の中何の品物が一番多くハケるかを大畧確かむる爲めにソレ〳〵當事者に就て取り調ぶる所あつたが大に世人の參考ともならうと思ふので左に一寸紹介することゝしやう、尤も此の盆なるものは都はトモカク斯く諸々方々の田舍から入り込んで居る移民地にありては多くは舊暦を用ふるやうであるから一概に之が品物のハケ方の趨勢をトする譯には行かぬが其の時は又其の時で別に紹介の勞を執ることゝしやう

▲サテ之が贈物の重なるものは人に依つて各々違ふがマッ通例ビール洋酒、莨、水物、砂糖、菓子、扇等で石鹼とかハンケチとかいふものは餘り一般には行はれぬやうである、而して是等の品物の中何が一番能くハケるかといふと第一にビールでソレから莨、砂糖、洋酒、菓子といふ順序である、而して又右の品物を細かに區分して見るとビールは重もに札幌で莨は官營のもの洋酒は生葡萄に次でブランデー、ウヰスキー、菓子はビスケットといふ、順序である、然し本年は一般に不景氣であるから從つて之が贈物も質粗になり又中には相互の遣つたり取つたりを廢しにして所謂押し合ひで濟ました向もあると見え去年から見ると三四分方減じたやうである

▲現にビールの如きはキリンを除き本年三月より今日迄京城の土地丈けでハケた數は九千五百箱(一箱四打入)であるが……尤も此の夏場を越さねば分らざれど……昨年に比すると今迄の所ではズット減少の姿である、併し莨の方はナカ〳〵の優勢で品物こそ違へ一般にハケる割合からいふと或は此のビールを凌駕して居るかも知らぬ、話は少し別路に入るが今昨年の一月より六月に至る官營莨のハケ高が本年の一月より六月迄のソレに較べて見ると昨年に於ては三千三百箱であつたものが本年に於ては四千六百箱の多きに達して居る、是はツマリ近頃金口が癈れて一般に官營の莨を愛用するに至つた自然の趨向である、併しビールの方になると韓國では餘り競爭者がないから從つて其一隆一替の度が著しくない代りに一時にドカッとハケるやうなこともないのである

文苑

松都懐古　茅山處士

千年松岳碧嵯峨。客開鈴鼓子度過。
往跡無痕雲影散。前朝如夢鳥聲多。
不返王孫春草恨。商女猶唱後庭歌。
滿年高臺何處是。離々麥穗夕陽斜。

小說 新不如歸 (五十四)

篠原嶺葉著

二人は意外の話に膝の進むを覺えず、耳を傾けるのであつた。足柄は又語り續けるのである。

「そこで、今一應貴方がたに聞きたいのは今お話の一件ですがね、畢竟百合子さんに難癖をつけて離縁して、其後へ猿渡の孃さんをお嫁になさらうと、恁う有仰るのですか。」

すると、奈加子は些と猿渡の顔を眺めて、

「はい、眞個、まあ恁う云ふやうな理なんです。」

と、言難さうに恁う云つた。

「これに就いて貴方に何か宜い方法があると有仰るんですか。」

と、猿渡が其顔を見つゝ問ひかけると、

「いや、それは無論宜い方法がある、方法があればこそ飛び出した理だが、しかし……。」

と、言淀むで猿渡の顔を眺めて、意味ありげに微笑するのである。

と、見るより猿渡は早くも其心を察して、

「又十八番ですか……必然さうだらうと思ひました、貴方に見付られたが最期蛇に睨まれた蛙同様です。」

「僕を蛇と云ふのは酷いね、まあ〳〵蛇なら蛇になつて置くが、成功謝金は何程下れます。」

猿渡は些と首を捻つて、

「然うですね、しかし必然成功する見込がありますか。」

「見込みがなくッて言ひ出すもんですか。」

「必然成功させて下さるなら、恁う爲ませう、日外の殘金三千圓ですね、あの三千圓を謝金として棒引に致しませう、どうです僅かこればかりの事に三千圓の謝金に不足は無いでせう。」

と云つて、足柄の顔と奈加子の顔を等分に見るのである。

「本來云へば、三千圓の上に現金で千圓位は並相場だが其處は知り合の顔に免じて、では三千圓の棒引で引受けやう。」

奈加子は呆れ顔に、

「足柄さん、貴方はまあ本當に見懸けに依らない方ですね、これまで宅へ度々お出でになつても、貴方が豈夫恁う云ふ方とは夢にも存じませんでした。」

「恁う云ふ方と有仰るのは、斯う云ふ大膽不敵な惡黨と思はなかつたと有仰るんですか。」

「いゝえ、然うぢやございませんよ、斯う云ふ頼母しい方とは思はなかつたと申すのです。」

「どうもお辭で痛み入ります、あんまり頼母しくも無いのですがね、猿渡君に仕込まれまして、はゝゝゝ。」

「冗談ぢやありませんよ、斯う云ふ事は貴方の方が余程兄哥でさあね、はゝゝゝ時に其方法と云ふは奈何爲やうと云ふのです。」

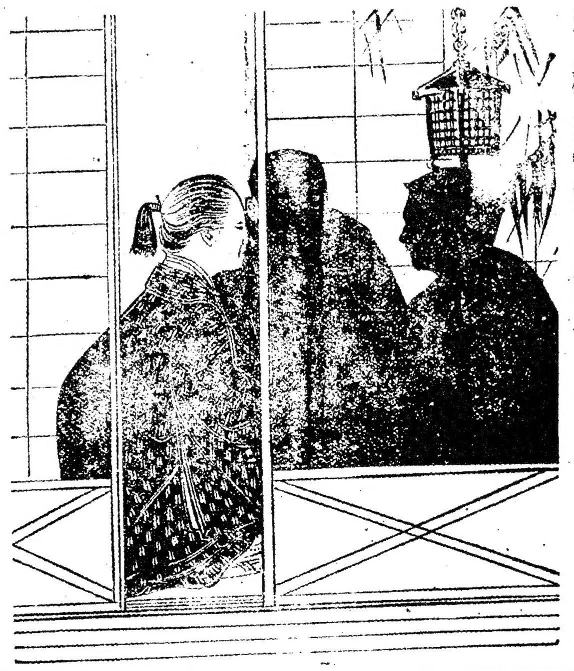
と、やゝ改まつて問ひかけた。

「其方法ですか、其方法は今お話するがまあ一杯熱い酒を頂いて、話すと爲ませう。」

云ふより早く奈加子は、銚子を取上げて盃々と注いだ、足柄はそれをサモ旨さうにグイグイと呷つて、

「其方法と云ふのは、斯う云ふ理由なんです、まあモウ少し頭を鳩めて話しませう、どうぞズッとお寄り下さい。」

兩人は殆んど膝と膝とが摩れ合ふまで足柄の傍に近づいて、そして熱心に耳を傾けるのであつた。



▲京龍醫師案內▼

內科 外科 婦人科 入院隨意 植村病院 京城南山町二丁目 (電話三三〇)

入院隨意 高井醫院 京城壽町三丁目(元阪井病院跡) (電話二一六番) 院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

病室新築入院隨意 內科、小兒科、花柳病 眼科、外科、婦人科 京城壽町三丁目 清水材木店跡 院主 醫學得業士 中島貞信 中島醫院

應診療 龍山旭橋通 久木田醫院 入院隨意

龍山老松町 入院隨意 上田病院 電話一一八番

內科 眼科 婦人科 小兒科 入院隨意 吉田病院 南山町三丁目

入院隨意 各科診療 共立病院 京城本町六丁目

京城西小門通り 京城醫院分院 院長 菅恒

黴毒 橫痃 皮下注射療法 包莖 無痛手術 內科 外科 婦人科 眼科 小兒科 京城南大門通一丁目日の出旅館に 戸田病院

新皇城 大漢門前 日韓病院 見習看護婦募集 希望者は本人來談あれ

●●入院隨意●● 小川病院 京城本町七丁目 電話六五三

▲京城辯護士案內▼

辯護士 元判事 法律學士 岩田仙宗 明治町二丁目七十五番戸 佛國教會表門前 電話三五四番

辯護士 藤井太郎 本宅 京城東大門外支峴還別莊 事務所 京城旭町二丁目

辯護士 明法學士 前代議士 高橋章之助 事務所 銅峴三十三統五戸(明治町突當) 電話二五六 本宅 京城本町五丁目 電話一二四(長距離)

辯護士 莊子斌 京城理事廳前

辯護士 皆川廣濟 京城南山町一丁目山手 (電話八五七番)

永井法律事務所 京城旭町三丁目 (電話二二八) 辯護士 永井道忠 辯護士 白井勝悟

辯護士 大久保雅彥 京城旭町二丁目 (電話八三九)

民刑訴訟鑑定 登記漢城府手續 諸願届代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介 岡田事務所 京城本町一丁目 民役所前 取次電話六二四

明法學士 訴訟代理人 小川勝平 事務所 京城本町一丁目 (電話四壹番) 大邱東門外

貸地 一龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側約五千坪 但し五十坪を一區として割貸 右將來多望の地貸附申度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也 京城明治町一丁目 森村太郎 京城本町二丁目 林田金次郎

賃貸或は賣却 一貳層洋屋及韓式住宅 造作は專ら日本式使所及湯殿は新設也 右弊所使用の處今回移轉すべきに付賃貸或は賣却可仕候間御望の方は御來談被下度候也 京城鐘路通り一丁目 鐘路 精成組事務所

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌所 京城本町二丁目 陶榮商店 電話壹參番電信略符ト 振替貯金口座壹五七壹番

第二回荷着 一蚊帳 一久留米絣 一綿類 一備后絣 一浴衣地 一布團地 珍柄種々アリ 京城明治町一丁目(電話二六一番) 卸商 唐川商店 龍山旭橋通 唐川支店

檢查濟 氷卸販賣 益田氷庫 販賣所 旭町一丁目(電七四五番) 南山町擲翠樓前

日本澤庵 味噌醬油製造 乾物荒物鑵詰 銘茶食料雜貨 漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店 (電話二五一番)

蓄音器各種 新譜 新音譜各種 新荷着 東京三光堂蓄音器韓國總代理店 京城本町 辻屋 本店電二四八 支店電三六六

▲流行の魁　新柄ゑり地帯あげ其他種々
取揃へ店頭へ陳列致置候間御散歩御來觀被下度候
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新聞

新内閣の成立

久しく行悩みたる新内閣は愈々成立せり、閣僚の顔觸を見るに決して絶對的適材を得たりとは言ふ可らざるも、比較的好個の内閣と云はざる可らず、余輩は閣僚の按排を見るに桂侯が如何に之を羅致するに苦心したるかを察せざるを得ず、桂侯も此役割を以て眞に其意を得たりとするものに非ざるべきも種々なる事情は之が撰擇を擅にする能はざるべし、然れども其羅致し得たる顔觸よりすれば決して侮る可らざる内閣なり

其逓信大臣の如きは朝野の人望を一身に集めたる利者にして、人心を新たにするに於て最も妙なりとす、文部大臣の如きも一方の飛將として新内閣に於ける好個の參謀たるべし、司法大臣は研究會及進歩黨の關係よりして前内閣の堀田子に優るなり、外務大臣は今の外交家中此人の右に出るものなからん、大藏大臣の兼攝に就ては兎角の評あるも、軍事費繰延に於けるが如き財政上の大問題を決定するには却て兼攝を便とすべし、世上曾禰子を以て大藏大臣たるべしと噂するも、曾禰子は今や韓國經營に熱中し居れば韓國を去るが如きことは決してあるべからず、殊に伊藤統監辭任の説愈々事實ならんとの事なれば、其後任は無論曾禰子たるべければなり、惟ふに專任大藏大臣の撰定は桂侯の胸中に往來しつゝあらん、早晩適材を得て塡補せらるゝや明なり。

斯の如く觀察し來れば新内閣は決して完全と云ふ可らざるも、不完全なる内閣には非ざるなり、紊亂せる財政を整理して内外に對して信望を增さしむるは方今の急務なり、實に財政問題の處理如何は内外人の刮目して環視する所なり、桂侯の起て大命を拜したるは、挺身以て之を處理し財政の基礎を堅固にし、帝國前途の發展を期するに外ならず、世人は新内閣の超然主義云々を以て批難するも之れ未だ桂侯の心事を諒解せざるが爲なり、桂侯は能く政黨界の事情に通ず、政黨を度外視して政策を圓滿に實行する能はざることを能く知れり、後藤、小松原、岡部の閣僚亦た能く其事情に通せり、政黨内閣を以て標榜せざるも決して政黨を無視する如きことはある可らず、要するに新内閣は戰後の經營を完成するの資質を稍々備へたり。

余輩が新内閣の成立を喜ぶ所以のものは財政の整理を完成せらるゝのみならず、對外政策に於て遙に西園寺内閣に優るものありと信ずればなり、内政の整理素より忽にすべからずと雖も、海外政策の發展は帝國前途の隆衰に關する大問題なり、之れ列國が殖民政策に熱中する所以也、列强の間に處して能く帝國の威信を保ち大勢に後れざらんとせば對外政策に意を用ゐざる可らず、之れ余輩の新内閣に期待する所なり

●漢城便り

▲我春畝公は吾妻艦と共に雲影淡き邊に分け入られ申候内外の政務も海上生活は犯さゞるべきを以て此一兩日は公にとつて實に極樂ならんかと被存候位人臣を極むなどは幸か不幸か此處大に考物に御座候

▲今の春畝公の境遇は恰も幕府の末路に勞蹐たるものに有之候天下はドコ迄も自分の物なりと信じ居らるゝ間に諸方面より鼎の輕重を問はるゝと云始末に御座候公にして豁然大悟例を慶喜公にとらば死前に悔なからんかと被存候

▲金允植をれ土產とは驚入申候如何に品拂底の今日とは申せ伊藤公の勢望を以て骨董商を叱咤せらるゝならば實價に於て將交換價額に於て允植以上の高麗燒は必ず見當りたるならんかと被存候東京の上下金高麗燒を目て公の囊底の程を怪まざれば幸甚に御座候

▲第一銀行券引換に關する諸種の流說は際物師の揑造に相違無之候根も無き風說を以て無智の韓人を欺き二割引にて舊漑澤券を買入不正の利益を收めんと爲しつゝあるは事實なるものゝ如くに御座候今は單に第一自身のみならず政府當局者も相當の手段を以て引換の圓滿に行はるゝ樣取計ふが當然の義務ならんかと被存候

▲巷說によれば此頃韓政府が第一銀行に對する態度は甚だ解し難きもの有之候樣子に御座候記者の知るところを以てすれば今第一が有する兌換券發行の特權は素々一銀其物の希望により得たるには非ずして實は時の韓政府が我公使を通じて彼の便宜上同行に與へたるものに有之候而かるに今日となりて發行特權に期限なきを奇貨措くべしとなし兎や角難題らしき事を持出し稍もすれば同行の既得權を奪はんとするの狀を示すは甚だ心得ぬ次第と存候

▲普通金融問題に就ては記者は第一に對し尠からざる言分を有するものに御座候併し同行の特權問題に就ては半島に於ける我帝國の利權の一部として將た居留邦人全体に係はる問題として韓國政府を反省せしむるの論議を爲すを義務と感ずるものに御座候世の有識者は定めて御同感ならんと存候

東京電報

▲西園寺侯の前官待遇

左の通り御沙汰ありたり
侯爵　西園寺公望
特賜前官待遇

▲清津會寧間の鐵道

韓國淸津より會寧に至る人車鐵道は雨宮敬次郞氏等の發起にて輕便鐵道に改むるの計畫あるも陸軍省は拓殖上東洋拓殖會社の計營に委するの意向あり(十五日發)

雜報

●統監の仁川出發

昨日下仁せられたる伊藤統監一行は豫定の如く昨日午前十時三十分信夫理事官の案内にて旅館朝日樓を出で稅關埠頭より兼て準備せる滊艇宮丸にて港外に碇泊せる吾妻に向はれたり見送人は統監府、軍司令部、韓國側、各高等官、仁川在留各文武官、民會議員、商業會議所議員、新聞記者等數百名に達したるが吾妻は午後拔錨馬關に向へり

●統監辭職說

伊藤統監今回歸朝の上は樞密院議長に轉任すべしとの說ありしが右は彌事實となりて同統監は願に依りて本官を免じ樞密院議長に專任せられ山縣公は專ら元帥の用務に鞅掌することなり國步艱難の今日兩元老とも帝都に在て陛下の御下問に奉答することとなるべく伊藤統監が彌辭職すとすれば同時に曾禰副統監が統監に昇進し曾禰氏が統監とならば鶴原總務長官は辭職し多分當分の間總務長官は缺員の儘ならんといふ者あり

●韓皇の拔齒

韓皇が豫て齒痛を患へさせ給ひ從つて御腸胃に障り在らせらるゝは漏れ承はる處なるが宮中には未だ齒科專門醫の侍する者無きを以て近侍の人に協議の上南山町に開業せる飯塚徹氏に診察を命せらるゝ事となり本月九日同氏は參内拜診したるに御病名は慢性齒槽膿漏にして全体の齒根動搖し居り既に前齒三枚は自然に脱落せしものに米國醫の手に成れる御入齒を用ひさせ給ひ居るも尙下頭右側門齒及び左側第一大臼齒の二本は拔去るの必要あり侍醫とも凝議の結果手術を行ふ事に決したり然るに從來宮中に於かせられては外科手術を行はせられたる事なきを以て皇帝初め近侍の人々も大いに心痛し飯塚氏も手術を施すため玉体に御障りありては畏多きのみならず此の手術の成否は日本醫師の名譽に關し其の責任の重大なる事を信じ愼重拜診の上十三日手術を施すに決し便殿の隣室に於て宮内大臣同次官侍從院卿小山典醫其の他侍醫侍從立會の上先づ局所麻醉を接して右側門齒を拔きたるに御痛みを覺へさせ給ふ事も少なく續て大臼齒を拔く事となり約四十分間にして手術を了したるに多少の出血はありしも御心痛あらせられし程にもなく容易に手術を終りたるを以て皇帝はじめ近侍の人々の悅び一方ならず飯塚氏は非常の面目を施したりと云ふ爾後同氏は每日御思召により午後一時より參内拜診し居れるが經過頗る良好にして二三週間を經創面の癒合するを俟て御入齒を施さるゝ筈也と

●太皇帝の御病氣

太皇帝は十日十一時頃より風氣にて頭痛便秘を感ぜられ同時十分典醫洪哲普を召入れ典醫の診斷によれば暑症と云ひ容体又輕微なりと云ふ

●副統監の献品

曾禰副統監には十日嚴妃へ左記献品をなせり

一、七寶燒花瓶　一對
一、同香爐　一台
一、軸物　三幅
一、絹緞　一卷
一、眞珠入指環(一個入)　一匣

●扇子下賜

太皇帝には十二日夜扇子百七十九本を昌德宮警察係職員一同に下賜せられたるに依り昌德德壽兩宮日韓全員に分配せり

●嚴妃の下賜品

十二日午前九時慶善宮掃丁が德壽宮へ氷塊搬入の際正門前の石段上より顚落し前額部に長さ一寸五分巾三分の創傷其他手足腰部に擦過傷を負ひ一時其場に昏倒したり依て應急手當を加へ正氣に復したるを聞召され嚴妃には見舞として白木綿二疋下賜せられたり

●御救恤金の分配

暴徒のため家を燒かれ又は殺害されたる者に對し韓皇は御救恤として内帑金拾萬圓を下賜せられたる事は既報の如くなるが右の金員は燒かれたる家一戶に對し十二圓殺されたる者一人に對し拾圓の割合を以て外國人に係るものは統監府に托し內國人には各地方官をして分與せしめらるゝ筈なりと云ふ

●墺國軍艦の入港

一昨日午後七時三十分墺太利軍艦カゼス、フランシス、ジョセン號は芝罘より仁川に入港せり同軍艦は尙は一週間滯留の筈にて艦長ウヰルヘルム、バーチエルト氏は昨日午前十一時仁川理事廳を訪問したり

●未墾地利用許可ご認證

最近に於て國有未墾地利用法に依り貸與及び承認を許可せられたるもの左の如し

京城南部樂善坊園井洞六十八統八戶　柳志鷰
京畿道南陽郡長安面一洞石浦洞
干潟二十三町七反四畝二十步五合貸付
京城南部後洞八十六統六戶　金聖吉外一名
忠清南道野川郡南面下龍堂里上龍洞里堂山里　干潟六十町二十三步貸付
忠清南道庇仁郡北里面美力洞一統三戶　金商翊
京城南部園井洞六十九統十戶　白永基
忠清南道韓山郡南上面長上里同下里
沼澤地四反五畝二十三步六合貸付
全羅北道沃溝府下定面中梯松村上梯新村外城山
干潟及草生地三十二町八反八畝五步貸付
慶尙北道大邱郡東門外居　福地義作外一名
慶尙北道大邱郡東上面牛頭村
荒蕪地及沼澤地二町六反三畝十四步貸付
京畿道開城郡郭莊里　崔中善外二名
平安南道三和府新四坊艾舍里大下坊沙川里帝岩洞
干潟四百十九町六反七畝十八步貸付
平安北道泰川郡西面一清溪里居　安時咸外一名
平安道定州郡海山面二里倉前洞
干潟四十一町四反五畝二十六步貸付
平安南道平壤郡林原坊魯下居　李秀所外二面
黃海道長淵郡海安坊三里洞
干潟百十四町四反九畝四步八合五勺認證

●賊貯藏糧の發見

七月八日黃海道兎山郡泉洞面亭子里に賊徒の糧食貯藏あるを探知したる市邊里憲兵分遣所は出張取調べたる處同里宗仲興宅の西側及南側の二個所に高粱殼を圓形に編み立て積藏しあるを發見せり里長の申立に依れば昨年舊十月十日賊徒申光三が里內に來つて軍糧の爲め糧食を徵發するに依り里長は長老の重立たる者六名と共に籾二十五石、粟五十石位醵合の末申光三に引渡したるに籾は昨年舊十一月及十二月中三回に全部運搬し粟は今尙現存せり是等徵發に供したる籾粟は開城の地主孫基文の田畑を亭子里民に於て共同耕作し孫基文に納入すべきものを徵發したるものなりと云ふ

●財務主事遭難の詳報

本月八日黃海道新溪財務署主事笠見忠一郎氏が暴徒のため殺害せられたる詳報を聞くに同氏は地方財務調査のため通譯韓人二名を引率して出張し同日新溪より五里谷山より五里の地なる江原黃海兩道の境なる丈石洞にて晝食中突然數十名の暴徒に襲はれ通譯一名と共に殺害せられ一名の通譯は重傷を負されたるなりと云ふ

●咸昌の蠶繭品評會

農商工部に於ては夙に古來蠶業地として有名なる慶尙北道咸昌郡に蠶業講習所を設けて養蠶の技を授け附近各郡に桑苗蠶種を配付し同地方蠶業改良發達を獎勵したるが今回同地の有志者を勸誘して蠶繭品評會を催せしに出品數韓國在來種四百四十一點日本及び支那種百五十一點あり本月一日より七日迄一般の縱覽を許し農商工部より岩田技師審査長となり牧野技手外一名審査員として出品物の審査をなし二百點を撰出し一等より七等迄の品位を定め同七日褒賞授與式を擧行せり慶尙北道鹽川書記官及び禮泉、龍宮、醴閣の各郡守其他日韓人等五百餘名の來賓列席し祝辭審査報告等あり次で園遊會を開き韓國相撲講習所生徒の技術競爭其他の餘興等ありて同地稀れなる盛會なりしと

●海州龍塘浦道路

內部治道局に於て開鑿すべき海州龍塘浦間の道路は近々着手すべき筈にて之れが用地として收用すべき海州西邊面州內面内にある土地家屋の賣買、交換讓與質入及び家屋墳墓新建は收用を畢るまで之を禁止されたり

●勸業博物館の近況

農商工部は勸業獎勵の目的を以て同部廳舍右隣なる元京城博覽會陳列場の一部に各種の生產品を陳列し一般人の無料觀覽を許し居れるが最近に於ける觀覽者は左の如し(月曜日休館)

	(入場人員)	(累計)
火曜日	六八二	五四、八九九
水曜日	八九四	五五、七九三
木曜日(雨天)	六八	五五、八六一
金曜日(同)	二二一	五六、〇八二
土曜日	六九二	五六、七七四
日曜日	九〇六	五七、六八〇

●韓會

湖南學會は十二日午後一時校洞の同會本部に於て總會を開き役員の改撰をなしたり▲西北學會は十一日午後四時總務會を開き規則改正の件に付き議する所あり▲大韓協會は十一日午後一時半總會を開き會長に金嘉鎭を撰擧し教育部長に權東鎭を撰擧し更に評議員十名を增加することに決し三時半閉會したり

●六月中京城商況（商業會議所調査）

△玄白米　本月は一般に農繁の時期に入りたる爲め玄米の出廻は少なく從て相場も前月よりは玄、白米共石に付き四五十錢方の高價を呈せり何れ七月初旬植付を終了する迄は下落せざるならん

△大麥　前月に引續き出廻り少なく市場閑散の狀態なり相場に於ては前月より石に付十錢方の下落を呈せり

△小麥　本月は比較的需用向き多く爲めに現品拂底の姿にて市場大に活氣を呈せり値段に於ては前月より石に付十五錢內外の高價を示せり

△小豆　本月は前月に比し相場及景況共大差なし然れども大豆の賣行不振に連れ手合せ思はしからず市場閑散の狀態なり

△大豆　本月も不相變大阪地方現品澁滯を來し爲めに相場も非常の下落にて望手更になく市場閑散の狀態なるも來る七月に於ては味噌醬油の釀造期に入るを以て多少活氣を呈するならん値段に於ては前月と大差なし

△和洋金巾　本月は韓人側一般に農繁期に入りし爲め地方商民の入京者稀少にして賣行者無の狀態なるも銀相場騰貴且つ品薄の爲め値段に於ては和金巾の如きはヱーヱー印桐に付四圓內外の高價を呈せり

△麻布　本品は日本麻布にありては目下需用時期なるに一方銀相場の騰貴に連れ賣行好況を呈せり値段に於ては前月と大差なし

△紡績糸　本月は內地非常の好況にして相場も時々昇騰を告ぐるも當地に於ては本月に入り例年最も賣行惡しき時期なると從來の安價品未だ在荷せる爲め相場も依然變動なく保合の姿なり賣行に於ても今尙ほ思はしからず

●憲兵補助員訓練

憲兵補助員中京城に於て募集採用されたるものは目下京城憲兵分隊に於て訓練中なるが未だ服裝出來せざる爲め普通韓服を着し宕巾を冠り我憲兵銃を携へ彈藥胴亂を帶びたる狀態は宛然韓國暴徒を見るの感ありし

●憲兵下士補充募集

憲兵下士募集は既報の如くなるが右募集管區は第一(東京)第四(大阪)第五(廣島)第十二(小倉)の師團に屬する各兵科豫後備軍曹伍長にして憲兵下士に轉移志願の者は八月一日より教育開始の豫定にて召集せらるべく在韓志願者あらば至急當該聯隊區司令部へ願出べしとなり

●漢城興信所設立

漢城手形組合にては汎く韓人の信用程度如何を探るべく近來興信所を設立せんとの計畫にて其の筋へ建議書を呈する由

●大臣次官以下の下仁

昨日伊藤統監の乘艦見送のため各大臣次官其の他勅任官統監府の重なる高等官は何れも下仁せり

●遠藤仁川局長轉任

仁川郵便局長遠藤氏は十四日附を以て統監府通信管理局在勤を命せられ之が後任として同管理局より通信事務官補法學士八木辰馬氏來る筈なり

公人私人

△三增久米吉(馬山理事官)　一昨日來京巴城館
△川原信義(法典調査局事務官補)此程來京
△向坂幾太郎(水原農場技師)　開城へ向ふ
△塚原加太郎(判事)　仁川に向ふ

●近事片々

▲統監辭任の說は幾度か打消されたるも諸種の情報は愈々事實となりて顯るべしと
▲伊藤公樞院議長となり山縣公專ら元帥の事に任じ國政に貢獻すべしとは異ならん
▲伊公辭任の上は曾根子統監たるべきこと事實なりと之れ當然にして怪むべからず
▲曾根子統監たらば總務長官は當分缺員の儘に差置くべしと之れは決して差支なし
▲曾根子の統監は或は意外に成功するやも知る可らず庶幾くば我對韓策を完成せよ
▲後藤男遞信大臣となり滿鐵總裁缺員となる何人か此重任に當るべきや刮目を要す
▲後藤男兼任すべしとの說あるも之は虛傳なるべし此際專任總裁の必要論を俟たず
▲中橋德五郎田健次郎淸浦奎吾の呼聲あるも何れも適材と云ふ可らず借何人なるか
▲三人の中にては中橋尤も適任ならん然るに淸浦尤も望を屬すとは困つた者だわい
▲薩派連中伊藤公を中心とし樺山高島を左右翼とし政友會と合し山縣系に當らんと
▲斯くて山縣系に一泡吹かしあわよくば內閣を乘取らんとす伊公例に依り躊躇すと
▲菊地男或者に語て曰く先年伴食大臣となりて三萬圓を損す大臣商賣迚も引合ずと
▲牧野前文相曰く在任中五千圓を足し前したり等しく大臣稼業は不引合也とこぼす
▲松田正久曰く吾輩は足しをしたくも貧乏で餘裕なし大臣商賣は引合ふとは面黑し
▲尾崎東京市長辭表を呈出せりと此際に於ての辭表は矢張昔日愕堂の面影倘ほ存す
▲學堂辭任の決心ありてか近來頻に氣燄を吐く政界縱斷策理論に於て甚だ佳なる也
▲學堂はドコ迄も伊藤系也今冬議會には民軍の急先鋒として得意の雄辨を揮はん乎
▲猶與會革新派合同して一の政社を組織して桂內閣に當るの企ありと大に遣るべし
▲島田一派桂內閣にして善良ならば反對するに及ばず迚河野一派に反對せりと云ふ
▲露紙ダーリヌイウオトーク曰く日本人は重荷を負ふて山上に進む馬の如しと吐く
▲黑龍江鐵道米國艦隊支那のボイコットは險岨の山也能く山上に達し得るや否やと
▲亦曰く日本人は蒼白の顏色にて何時も愉快らしからず沈默にして微笑だにせずと
▲常に國力の發展を考ふ洗濯屋は洗濯をなしつゝ考へ子守は子守をなしつゝ考ふと
▲斯く冷笑しつゝ內心は大に日本人を恐るゝとは露助も隨分神經過敏の性質なる哉

社告

今回京城新聞を創刊仕候趣意に付ては偏に讀者諸君の御諒察を仰ぎ候微力素より當らずと雖も諸君の御同情に答ふるの覺悟に御座候間何卒舊京城新報同樣御愛顧の程伏て願上候
追而舊京城新報社に關する債權債務其他殘務の一切は當方にて取扱申候に付左樣御承知相願申候

明治四十一年六月七日
京城西署西小門通
京城新聞社

●南山の自然主義(續)

南山の自然主義とはこれ等のことか、さりとはつまらぬ事なりけり、此暑さに御苦勞千萬尙ほ此上に汗を絞りて登山するも馬鹿／＼し、寧ろ此邊りの涼しき樹蔭に憩ふて江戸の空想に耽けることこそ面白けれと、亦も夏草の上に横はりて過ぎ越しかたの事ども思ひ出づればそれからそれと聯想は湧き來りて獨り微笑むも可笑しけれ、昨春江戸を離れて以來兎角饑饉道に落ちたる境涯には先づ第一に偲ばるゝ橋善乃至は天金の天麩羅なり、和田平乃至は竹葉の蒲燒なり、魚河岸のすしの立食ひなり、鮪の刺身なり、斯く考へ來りては咽喉より唾の押上るを禁ずる能はず、讀者よ笑ふ勿れ、今は何樂みなき身の食慾より外非ざるなり、五尺の男子徒に明暮れ喰ふことのみを樂とする憐むべき境涯に同情を寄せられよ、而して其食ひ意地の穢きを笑ふ勿れ、之れ事實なり所謂赤心を吐露したるなり、若し以上列擧したるものが取替引替に胃の腑に送らるゝことを得ば僕は更にホームシックを起さじ、必ずや毎日嬉々として日を送るぞかし、さても哀れの有髯男子なるかな。

閑話は休題として、自然主義實見の本務を忘るべからずと、耳を澄て目を刮て眺むるも此處ら邊りは山家にて唯鳥の囀る聲のみぞ聞ゆるのみ、斯くては本務を怠るに似たりといざ業を勵まんと徐ろに身を起してぼつ／＼坂を下だりて噴水のある處まで來りしに其の共同椅子に迂散なる若き男女が何かさゝやきつゝあり、之ぞ自然主義の本躰なれど徐ろ歩きの眞似して耳をすまして其話を聞かんとせしに、男女は我の素振りに氣付きしや亦何事かさゝやきて椅子を離れて上に登り行けり、此奴逃がしては何時また廻り遭ふや知るべからずと、我は男女に追尾して登り行く、彼等は我を迂散くさきものとでも思ひしにや、女は男に話をかけて、

「一寸さ、もう歸りませうや、暑くつて仕方がありませんね、却て家の方が涼しいでせうよ」

男は之に應じて、

「そうですねえ、貴女の家の二階が却て涼しいでせう、直ぐ歸りませう」

と僕の顔を尙ほじろ／＼見て又た後に引返しぬ、さて失敗たりや余り急追したゝ爲に好き敵を逃がしたり、こは我れながら誤てり／＼、逃るものは追ふ可らず、寧ろ此邊に網を張りて好き鳥の來るを俟つこそ賢けれど亦も草を褥の假枕ろよ吹く松風の涼さについうと／＼と熟睡せり、驚て目を醒ませば夕陽既に沒して、西天の夕霞恰も齋の如く自分も齋中の者たる心地せらるゝ時に晩鴉啼いて塒に急ぐ、僕も亦急いで巣と定めたる狹き温突に歸りぬ、自然主義の探見は斯くして失敗に歸したりき、御苦勞千萬穴賢(をわり)

●馬山の斃牛に就て

既報馬山に於て八頭の牛短時間の疾病にて斃死したるとは既報の如くなるが右に就き目下下の關地方に流行を逞ふせるものと等しく牛疫に非ずやとの說あり當局者も大いに心痛し居りたるが調査の結果は牛疫に非ずして炭疽なる事判明したりと云ふ

●下の關の牛疫と韓牛

目下下の關地方に牛疫發生し益々流行を逞ふす兆ありて日本各新聞の傳ふる處によれば病毒の系統は韓國より輸出せる生牛に存すとなせる如く農商工部當局者も事實果して然りとせば韓國の重要輸出品に大影響を及ぼすを憂へ過日畜産課長原島技師を馬山釜山下の關の地方に派遣して調査中なるが未だ右の牛疫の系統が韓國に存する事は認め得ずと云ふ尙同部は各地に訓電して牛疫の有無を調査中なるも一も牛疫發生の報告に接せず

●一進會員の横暴

六月二十日頃京畿道楊根郡下道面檜谷進會員金淳八なるもの同面龍門川に於て居民と飲酒の結果爭論を爲し毆打せられたるを憤り江原道加平郡に至り一進會員七名を同伴して龍門川に來り加平守備隊の使者なりと稱し居民を脅迫し以前爭論を爲したるもの六名を捕へて髮を切り尙ほ金員を掠奪逃走せり

●平山牧場

大和町一丁目にある同牧場は開業既に十數年を經たるものにて場主擔乳牛として韓牛と洋牛との比較研究の結果洋牛は牧牛者に取り經濟上頗る有利なれども滋養分の豐富なるは韓牛の方遙かに優れるを發見し爾來韓牛のみを飼養し需用に應ずる事とし諸官衙病院等より續々注文あるを以て此際一層乳牛の精撰をなし益々事業の發展を圖ることゝなしたりと因みに同牧場の牛乳は各病院の檢査には常に第一位を占め居れりと云ふ

●龍山の化物屋敷

此科學の進歩せし世の中に化物屋敷などの存することそ實に奇怪の話しならずや、處は江の沿岸なる龍山にて元警察分署のありし裏手の崖上の家こそ化物屋敷なり曾て此家に住ひしは龍山分署長佐々木警部にて同警部は同家が化物屋敷なることも知らざりしとは云へ身警部の職にあるのみならずサーベルの手前もあることなれば斯る寂しき家にも拘らず住居ひしが或る夜のこと四隣人定まりて天籟寂として前を流るゝ漢江の水の音さへ最と靜かにして夜盜を警むる吹竹の遠く微かに聞ゆるのみ此時何等夜盜の所爲か細切りし雨戸を表よりザワ／＼と撫づる音するにぞ佐々木警部は此物音を聞き必定盜賊の忍び入りしならんと職掌柄とて已れご參なれ手捕りにして懲らしめやらんと臥床を出でゝ窺ひ見れば夜盜は勿論鼠一疋も居らず夫れらしき者も見當らざれば何だ馬鹿／＼しきと呟やきながら臥床に入りたる後は何の物音もせざりしが翌夜も又た同時刻に至り前夜の如き物音するにぞ又た起出で見れば何者も見當らず斯の如きこと度々に及びしかば佐々木氏も不審に思ひ遂に雨戸の所を釘付けしたるにも拘らず同時刻となるや雨戸を撫でる音するを以て多分風の爲め樹木の葉でも當るものと何の氣にも止めざりしが或る夜のこと某所の宴會に出席し夜更けて歸りしに兼て打付けし釘にて足部を負傷されたり之れが爲め同氏は一時重体に陷りしことありしが此れ必ず家屋に何か祟る者ありてのことならんとて他に引移られたるに足部の負傷は忽ち平癒するに至りたる由にて誰れが言ひ觸らしけん同家を化物屋敷と稱し同地にて專ら評判し居れるが今の世にまさか化物も出まいに馬鹿／＼しき話しならずや

●避暑案内

▲水原府　同府は京畿觀察府ある所にして水原城あり歴代王の離宮として最も尊崇せらるゝ所又水原八景ありて訪花隨柳亭西湖等最も著る西湖は水質清澄附近の景致亦雅にして游泳し、舟を泛ぶるを得べく又多く鮒を産す味亦美なり現今勸業模範場の所管に屬せり華山には王陵あり元來水原は水質の純良なるを以て名あり避暑の地としては好適の地なり

●七福の成れの果て

本町八丁目に末廣亭と云ふ小料理屋がある此處の酌婦にれ增(二十)と云ふ一寸澁皮の剝けた劣媛がある否なれ增は同じく劣媛仲間では一寸人目を惹くに足る劣媛であるが此のれ增が未だ平壤線町に七福と名乘つて頻繁に吉野紙を汚して居つた頃に就て一條の物語がある其の物語りの大要は餘り詳細に渉ると風俗壞亂に陷るから爰にはザット記して置くが其の當時或る官廳に勤めて居た鰡八君とれ增の七福クンとは夫れは／＼大同江よりも深い仲で餘處の見る眼を眩しがらせた者だが月に叢雲七福に嵐でも無い事が湧いたと云ふは其の鰡八先生官命如何ともし難く涙を流して新義州方面に轉任して一つの月を西東に眺むることゝなつたので七福クン其の當座は野暮な出雲の神樣を恨んでも見たが根が祠細の働きが優しい七福クンのこと時々昔しを思ひ出しては一人で笑ふ方が却て樂しみかも知れぬと鰡八先生の事は奇麗に諦めて其後は得体の知れぬ無頼漢の勇み肌に入れ揚げてドウせ遊女風情には六ケしい官吏などより此の方が面白いと獨り宜い氣になつて居つた然るに此の勇み肌が恰度潮時を見計つてれ增の七福を落籍したのは誠に感ズンの至りだが夫れ底には蓋もある計畫、一体女ッ兒一疋物の見事に落籍して手活の花となす藝當が既に此の勇み肌には不似合の所爲である處から其の後差向いの夫婦暮しれ增の七福クンが逼塞樂しい事は無いと喜んだもホンの片時丁度氣の早い嫖客が寢るが早いか身代のかぎりを濟したと同じ事騙で勇み肌の口車にマンマと乘せられて京城に來るや迄のこと直樣末廣亭に前借百五十圓にて酌婦に叩き賣られて今日では昔しにも劣る賤娼賣を演つて居る夫れで今日此頃は勇み肌の仕打が熟々恐ろしくなつて新義州方面にある鰡八先生のことを思ひ續けて居ると云ふことだ本當ならば察し申すと斯くの如し

●先夫に秋風が立つ

一昨十四日午後八時三十分頃南部薰陶坊甲洞三十六統一戶鄭浩允(三十)の下婢金姓女なるもの愁然として洞峴分署に訴へ出でゝ曰く自分は從來朴といふ男と夫婦の契を結び二人中睦まじく前記の主人方の一室を借りて暮し居りしが夫はツと先頃左る用事ありと稱して何れへか出で行きしまゝ未だに歸り來らずのみならず何の音沙汰もなければ今は世間にたよる人のなきまゝに女心の何となく心細く思ひ如何はせんと思案に暮れ居る折柄或る懇意のものゝ勸めに前とても今から寡婦を立て通す譯にも行かねば那んな賴りなき亭主は今の内にキッパリと思ひ諦め他に見込のある男を持つが宜からうとのことに自分も成程と其の氣になり近頃其の懇意のものゝ媒介にて李連鳳といふ男を迎へたりしに圖らずも二三日前先夫が突如に歸り來り新夫と自分との關係を聞いて大に怒り又々元の通り妻になれと五月蠅く口說きて止まざれば何卒警官の御威光にて元々通り夫婦になることは思ひ止まるやう御說諭を願ひたしと申し述べたりといふが亭主が僅か一ケ月二ケ月我家を留守にしたとて狐を馬に乘り替へるなどの所爲は女として實際不心得の極なりといふべし

●火鉢を盜む

一昨十四日午前拾一時過ぎ黃金町三番戶植木喜七方入口座敷に置きありし火鉢一個を何者にか窃取されたる旨屆出あり警官出張して取調べたるも何者の所爲とも不明なる處へ右盜まれたる火鉢は明治町二丁目四九番戶古物商新田谷伊助方店頭に飾りある旨告ぐる者あり依て新田谷方にて取調ぶると此の火鉢は先程年齡廿一二歲位の男より代金八拾錢にて買求めたる旨申立つれど何處の者とも無論判明せず心當りを搜索せしに植木方附近を徘徊する年若き土方体の男あり盜まれたる時刻以前も徘徊し居りたりとのことに必然曲者は此奴なるべしと着目し行方を搜したるに同日午後八時頃南大門方面に赴きたる形跡ありとの事に警官は南大門通りにて網を張り居ると案の如く其の男と云ふが通り合せたるにぞ直ちに引捕へて取調ぶるとヘイ誠に恐入りましたと實情を自白したりとさ此の男は山口縣生れ當時龍山元町三丁目中野幸次郎方雇人藤本正市(二十)と云ふ者なり

待合 本町一丁目北裏 春日 (支那領事館前)

●自轉車乘りの不注意

筆洞居住李龍(十八)と云ふ薛ヨボは神戸市生れ栗木來吉なごと生意氣に日本名を詐稱し居る程の不屆者なるが昨日十一時三十分頃自轉車に乘りて本町三丁目第一銀行横手より本町に出でんとする際恰も通行中の永樂町二丁目五十二番戶青山秀次郎夫婦に行當り爲めに秀次郎は抱き居りたる本年生れの幼兒を取落したるより非常に立腹し李龍を自轉車より引卸して强談判を爲し居る處に警官出張し幼時は早速附近の醫師へ連れ行き手當を加へ李龍は警察に引致して留置中なり

クレシン荷着

丹波博士新發明
消毒藥クレシン(五千磅荷着)
惡疫流行の兆ある氣節に際し帝國陸海軍の御專用品消毒防臭藥クレシンの輸入を爲し大に販路擴張を企圖すクレシンは石炭酸を壓倒するの効力を有す
一手販賣 東京銀座一丁目 高田商會販賣部
第十三師團御用品 京城本町二丁目
韓國一手販賣 四ケ所商店 電話三一一

●小松を拔き取る

去る十三日午前十時頃近衛隊の兵士某は奬忠壇附近の射擊場に植へある小松三株を拔き取り居る所を巡回の巡査に見咎められ本署に引致の上た目玉を頂戴したり

●腸窒扶斯

櫻井町七五番高橋五十馬(二十)は一昨日腸窒扶斯に罹り青坡病院に送られたり

●赤痢

京城若草町十番戶金井茂登次(二十)は十三日赤痢に罹り青坡病院に送らる

(平)(民)(文)(庫)

▲夜半過ぎて小料理屋で騒ぐことは其筋では何故取締らぬのだらう(不寢生)▲浮浪漢の取締りは大に有難い無賴の徒一人減じたる爲め其德を蒙る者は極めて多い(困らせられた男)▲行當りばつたり立小便にすると打毆るぞ(潔癖家)▲貴社で何故龍山の記事を掲せて呉れぬですか(龍山有志)▲熱度百以上に昇る炎天を物ともせず西奔東馳する勞働者は實に國家の寶と謂ふべし(經世家)▲七倒七起の世と云ふが一体乃公は何時起くるのだろう(寢違坊)▲市中の汲水夫は水道の給水を初むると同時に勞働組合に入ることゝなつた將來勞働組合は恐るべき勢力を有するに至らん(統一生)▲五日の朝韓服に銃を擔いだものが三十名ばかり明治町方面より永樂町方面へ向つて進行し來りたるに會したが僕は暴徒が侵入して統監府でも襲ふのではあるまいかと思つて恐る／＼近付て見たら憲兵補助員の訓練であつた(吃驚生)●韓洋亭のバッテン別嬪は何處に行つた(下村)▲新町大桝屋の文字クン大藏の總さんと毎夜お樂しみ(振られ)▲第一樓支店の仲居は横着だ些と改めよ樓主の人氣に關するよ(注意生)▲京城の洋服屋は何處が一番顧客本位ですか(新樂)▲明治町一丁目の下駄屋は高い(呆れ男)▲大和町の淫賣屋愛國亭の料理は腐つて居る其の上非常に高い(ビール瓶)▲新町滴月樓の鹿の子クン先夜は自轉車のスーチャンと御樂しみ(振れ生)

龍山榮町(電話一三九番)
田淵藥局
藥劑師 田淵芳太郎

●天氣豫報(自十五日午後六時至十六日午後六時)

北又は東の風曇但少雨
十五日午前六時各地氣象概況
北又は東の風吹き元山は雨天城津は雷雨其他は概ね曇天なり

廣告

月刊 朝鮮
毎月一回一日發行 定價廿錢 郵税一錢 一切前金
京城本町二丁目 日韓書房

○○紋附染 ○○無地染 ○○友仙染
○○洗張 ○○湯のし ○○洋服染
染物及西洋洗濯業
其他染物一切並西洋洗濯
弊所主ハ斯業專門學校出身以來京都市ニ於テ數年間該業ニ從事シタル經驗ノ基ニ京都府ヨリ熟達シタル專門ノ職工ヲ招キ誠實ト迅速ヲ旨トシテ各位ノ御便利ヲ圖リ候間多少不論御用命ノ程ヲ希望仕候
○弊所ノ特技トスル洋服トンビ類染直シハ佛國ニ流行スル嶄新ナル技術ヲ應用シ新調ト異ラザル樣可仕候
京城本町一丁目(郵便局横通リ) 京城染色所
京城東大門外 西洋洗濯場

營業課目
建築ペンキ塗 ペンキ看板 硝子ボテ詰 人力車塗 碁盤目盛 自轉車エナメル 其他塗物一切注文に應ず
京城南大門通三丁目 ペン嶺

○上耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種
京城代理店 歐米雜貨商
京城本町六丁目 岡野商店

●內務省免許衛生試驗濟 ●陸海軍赤十字社御用品
滋養 補血 效驗如神
鐵冷鑛泉
●鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候
入浴時間 自午前七時 至午後十二時
京城本町一丁目郵便局前 鐵冷溫泉

表裝專門 並ニ金屏風
京城壽町二丁目 表具師 竹堂

開業御披露
ビヤホール
初夏の日影さはやかに清風涼しき兎根山分けて綠陰の其中に獨り立ちぬるビヤホール佳なる風景と清涼の美味なるは皆樣方の御遊來に叶ふべし
本町九丁目 大和町三丁目 新町遊廓 三方より上る中央兎根山上
兎茶屋

開業御披露
一品拾五錢より
西洋御料理
京城本町

西の宮た樂の述懷（三〇）

◎旦那樣附監査役

女將は八百藏さんを思ひ詰めましてドウしても一緒に行くといふのです、此れには私も八百藏さんもホト〱弱り果てましたが私は思を定めて「女將夫りやア餘り短氣過ぎる……マア落ちついて今一度思案し直すが宜うムいませう」と申しますと八百藏さんも「ソウです餘り輕擧な事をなすつちやア宜く無いソリやアもう私を思つて下さるのは實に有り難い譯ですがソレ丈はドゥか思ひ止まつて下さい……」と鎭めに掛る併し女將は「イヽエ私はもうソウと決心をつけたのでムいますから如何か止めずに置いて下さいまし……チー親方お前さんも往生して連れて行つて下さいナ……」といつて什麼しても承知して呉れないソレで私しは無理止めをしては却つてドンな事が湧いて來るかも分らないと思つて「ではソウした方が……」と申しましたが結局ソンチ事に相談が纏りましたから女將の喜びは一通ではありません直ぐ其の日の中に萬事萬端家の極りをつけて了ひ其の晩はもう八百藏さんの宿へみ輿を据へて女房氣取りて濟まして了つたのです、サテ私は萬事の世話を燒いて此の二人を立たせて仕舞ひましたから此れでマヅ私も安心いたしますると世間といふものは勝手なもので「おらくさんもナカ〱感心な女さ情夫を他人に呉れてやつて其の上に何から何迄身に引受けて世話をしてやつたといふのぢやないか餘ッ程腹が出來てなきやア出來ない藝さチダが聞いて呆れまさア然し惡く言はれるのと褒められるのでは誰にした所で褒められた方が氣持が宜うムいますから私も其後坐敷へ出ても自然氣が引き立ち面白く可笑しくお客樣のお相手をして居りました、前にも申しました通り私は餘り色氣といふものがありませんから不思議と奥樣方の御贔負がつき宜くお坐敷などへ聘ばれ〱いたしましたが追々お近しくなりますとチー「らくお前に私から賴んで置く事があるんだがチー我家の旦那樣がお遊びになる時にはお前宜く氣をつけて居てお呉れ……ソリやアチ殿方の事だからお酒の上で何かで冗談をなさるやうなことがないとも限らない何もソレを私がドウの斯うのといふ譯ぢやアないのだが……もし性根のよくない女などに引ッ掛るとソレこそ宜い馬鹿を見ねばなりませんソレには如何してもお前のやうなものに見張をして居て貰はないと安心が出來ませんから子……」などゝいふ御亭主付探偵役を申し付かるのでムいます、藝妓も斯うなつちやア往生で……然し性惡は殿方の普通ですから時折りは若い妓などにチョツカイをお出しになる時もあるのです（つゞく）

◉夏物大賣出し

嶄新奇抜 夏帽子

歐米最新流行品 洋傘 空氣呼鈴

雜貨商

京城本町六丁目 中塚支店

◉正札より二割引

一 和洋雜貨商・諸官衙・陸軍・銀行・會社・御用達

確 實

商品一切各製造元ト特約致居候

價格一定廉價ヲ以テ販賣仕候

池田長兵衛本店（京城本町三）

池田用達部支店

電話貳百〇六番

生石灰製造販賣

仁川電話六十二番 八田商店

特約販賣店

京城本町二丁目 電話八十五番 林田商店

龍山榮町電話一二九番 田淵藥店

石材大販賣

品質の優等なる江華島産を凌ぎ運搬の至便なる京城第一也 開業爲御披露特別勉強大割引を以て可應貴意候也

京城永樂町 赤門前 土木建築 測量設計 堺事務所

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝釘

○○○今般日韓圖書印刷株式會社ヲ○○○日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕從前ノ通營業致候間倍舊御愛顧ノ程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話（三二三番）

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋（三九六二番）

眼科 内科 外科

新築落成入院隨意

明治町壹丁目本町座前

松岡醫院

電話架設中

大競爭大安賣廣告

従來當地に數十軒の同業者あるにも不拘直接内地へ注文する多々有之候へ共這般弊店は原料を各産地より直輸入し且つ和製品は弊店に於て尤も吟味精選したるものを調製し價格は殆んど破格の安直を以て大競爭大安賣致候條内地より御求め相成候ものより優に御徳用に御座候何卒此際陸續御買求被下度願上候也

直段表

米國製銀判	一枚皮製	七圓
獨逸製銀判	深ゴム靴	
同ボックスキャフ	縮上ゲ靴	六圓五十錢
同	半長靴	拾圓
同	中長靴	拾貳圓
同	大長靴	拾四圓
同	一枚皮製	五圓五十錢
半裁ボックスキャフ	深ゴム	
同	縮上ゲ	四圓九十錢
同	半メリケン製	四圓五十錢
同	半長靴	六圓
ボックスキャフ	中長靴	七圓五十錢
同	大長靴	十圓
和キャフ	深ゴム	三圓
同	縮上ゲ	三圓
同	半長靴	四圓
同	中長靴	四圓五拾錢
同	大長靴	六圓
白縮緬色	縮上	五圓
ボックスキャフ 同	短靴	三圓八十錢

尚地方より御注文被下候方へ郵送料當方にて支辨し着品御一覧の上御氣に召さゝる場合は代金返戻可仕候也

京城本町一丁目理事廳横通 冨田製靴所

同本町六丁目 冨田支店

京城南大門外古市町（保税倉庫向）

京城外勤看護婦會

會長 勝本ひさを 副會長 淵文子

赤十字社及び縣立病院出身數名 並に産婆

産科。婦人科。小兒科

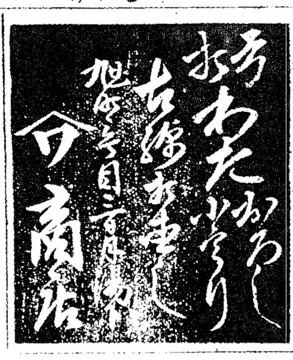
京城本町八丁目 山崎病院

醫科大學産科婦人科專攻 醫學得業士 山崎宗三

入院隨時 内外科 小兒科 産科 花柳病

京城旭町一丁目 安東病院 電話九一三

院長 安東貞一郎



東京 生そば

京城壽町三丁目（高井病院隣） 東京庵 （電話架設中）

會席御料理

京城本町八丁目 富士見樓

韓國京城 株式會社第一銀行

電話番號 營業用 一一番 國庫用 六二番 當直用 一二番 用度用 營業用三三一番 分析所用（六一二番）

本店 東京市日本橋區兜町

内地支店、出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區新大阪町

韓國支店、出張所 仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城 清國安東縣

右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

株式會社第五十八銀行 京城支店 （電話五八番）

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北江堀通五丁目

支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

爲替取組先

畿内	二十七ケ所	東海道	二十八ケ所
東山道	十三ケ所	北陸道	十ケ所
山陽道	七十五ケ所	山陰道	十三ケ所
南海道	二十三ケ所	西海道	三十ケ所
北海道	五ケ所	韓國	九ケ所
臺灣	二ケ所	清國	一ケ所

鰻丼 蒲燒

京城南山町三丁目 天金

海陸物産問屋商 海外輸出

廣島市天滿町 吉野兄弟商會

主任 吉野伊三郎 電話五八八番 電信略號（ヨシイ）

乾物海産 内外鷄卵問屋 蒟蒻粉商

廣島市天滿東詰 商號吉伊 吉野支店

主任 吉野久次郎 電話三九〇番 電信略號（ヨシキ）

海陸産物問屋

廣島市靑物市場 吉野出張所

海産物依托問屋 乾物諸鑵詰 漬物類卸商

韓國京城南大門通二丁目八番戸 吉野支店

主任 吉野商之助 電話七五七番 電信略號（ヨシこ）

松丸太 薪炭 各種

安價大販賣

京城南山町三丁目 川西商店

京義南川驛前 川西支店

株式會社十八銀行 京城支店 （電話四二〇）

京城南大門通

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 八拾萬圓

本店 長崎市築町

支店出張所 韓國 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山 日本 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 （利息日步壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店 （十八銀行京城支店）

提灯製造

並張替及瓦斯燈書替へ

弊店は業務確實にして仕事叮嚀なり

京城本町理事廳前裏通 藤井提灯屋

原金旅館

本店 仁川理事廳通（電話三二番）

支店 京城南山町（電話一〇七番）

◉日本瓦製造販賣

弊店儀今般左記の所に移轉致し從前の通り營業仕り候間相變らず御愛顧の程伏而奉懇願候

京城古市町（保税倉庫前） 濱本商店

日本郵船株式會社 仁川瀛船出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸 八月二日 後 時出

●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
第一オハヨー號 月 日 後三時出
釧路丸 月 日 後三時出

●大連、大沽、牛莊行
高砂丸 七月廿三日 後一時出
山東丸 七月廿一日 前五時出

●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 八月六日 後一時出

●鎭南浦行
第一オハヨー號 後三時出

●釜山出帆、元山清津、浦鹽行
弘前丸 七月廿二日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新聞社 京城西大門外 電話六六三番